

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ブロッサムジュニア柏木教室		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・スタッフが保育士、児童指導員、専門職(作業療法士)が在籍して多方面の職種からの知識や経験が療育プログラム、支援に活かされていること	・スタッフの得意分野を活かせるよう、療育プログラムを組み立て、質の高い療育プログラムの提供を行っている。 ・療育プログラムの立案は、毎月スタッフ間でミーティングを行い、5領域に沿って活動が固定化されないように意識していること。	・療育や支援については、児童発達管理責任者を中心に常に情報共有する時間を設けて、スタッフ間で共通の認識を持つようにしている。
2	・年間を通して、本部主催のスタッフ研修(新規スタッフ向け、児発管ミーティング)、法定研修(感染症対策、虐待防止等)が充実していること。	・年間のスケジュールを見ながら、所属スタッフが研修を受けられるように勤務を調整している。 ・研修の報告書の作成については、所属スタッフが順番に報告書を作成している。また、報告書についてはいつでも閲覧出来るようにしながら、各委員会活動(感染症対策委員、虐待防止委員)に活かせるようにしている。	・本部の主催の研修以外にも、外部の研修やセミナー等などのスタッフも参加出来るよう、自己啓発の時間を確保している。また、スタッフ間で研修やセミナーの情報共有を行っている。
3	・療育プログラムは、5領域に沿って毎日異なる療育プログラムの提供を行っている。	長期休み時は、平日とは異なるイベント(外出、制作活動、クッキング、体験活動等)を実施している。 ・個別、小集団、大集団と活動プログラムの内容によって活動する人数を調整している。 ・活動プログラムの立案、振り返りを行い、次回の活動に活かせるようにしている。	・運営している他事業所のスタッフ間で情報共有しながら新しい活動の立案等に繋げている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域交流や地域資源の活用	・地域交流出来る施設等の確認や連絡(アポイントメント)が出来ていない。 ・事業所近隣に活用出来る地域資源を把握していない。	・事業所近隣で活用出来る地域資源の確認をして、活動プログラムに活かしていけるようにしていく。 ・地域主催のイベント等、参加出来るイベントがあれば積極的に参加していき、地域との繋がりを作っていく。
2	・他事業所との連携、情報交換	・他事業所との連携や情報交換する時間を作ることが出来ない。	・近隣の事業所への訪問や交流会等に参加出来るように時間を作っていく。 ・事業所間連携について、積極的にやっていけるようにしていく。
3	・インクルージョンへの取り組み	・インクルージョンへの取り組みについてスタッフの知識が不足している	・スタッフの知識を深める為に研修への参加を行っていく。 ・自立支援協議会への参加。